

# 2025年度 マンスリーフォトコンテスト 審査員決定のお知らせ

Canon IDをお持ちであれば、どなたでもご応募いただけるマンスリーフォトコンテスト。  
2025年度審査員を務めていただく10名の写真家をご紹介します。

## ◆ 2025年度マンスリーフォトコンテストのポイント!

### 自分の撮影テーマに合わせて応募できる3つの部門!

#### 自由部門

応募形式：プリント

日常を捉えたスナップから、風景写真、ポートレート撮影までどんな被写体でも応募可能です。単写真だけでなく組写真も含め、さまざまなプリント作品をお待ちしております。

#### 自然部門

応募形式：WEB

自然部門では、風景写真はもちろん、花や星景写真など、自然にまつわる作品をWEBからご応募いただけます。作者の皆さんの独自のまなざしでとらえた作品をお待ちしております。

#### テーマ別部門

応募形式：WEB

「テーマ別部門」は、自由・自然部門とは違い、3回ずつテーマと審査員が変わります。テーマによって募集期間が変わりますので、しっかりと確認してご応募ください。応募方法はWEBからで、単写真のみを受け付けいたします。これまでチャレンジしたことがない被写体にも、この機会にぜひチャレンジしてください。

## ◆ 審査員からのメッセージ「こんな作品をお待ちしています！」

### 個性溢れる審査員!

#### 自由部門

#### 鵜川真由子

第1回～第6回



広告や雑誌などでポートレート撮影を中心に活動。主な作品に「WONDER LAUND」「海辺のカノコ」などがある。

「こう撮らなければいけない」というルールはありません。まずは楽しんで、心が動いた瞬間にシャッターを切ることを心掛けてください。プリントの仕上げ方にもそれぞれの個性が出ますから、どのようにアウトプットすることが自分の作品にふさわしいのかを試行錯誤してほしいと思います。皆さんの想いやこだわりの詰まった作品に出合えることを楽しみにしています!

#### 長倉洋海

第7回～第12回



1952年生まれ。世界の紛争地や辺境の地取材。1993年、土門拳賞受賞。2023年10月から写真展がブラジル4都市を巡回中。代表作に「MASSOUD」。

「写真がぶれていても、ピンボケでもいいじゃないか」と私は思っています。「きれいに撮れている」とか「シャープに写っている」だけなら、8K映像に敵わないでしょう。でも、あなたが感動し、伝えたいと思ったものが、ちよつとでもフレームの中に写し込まれていたら、それはほかの誰も撮れない写真です。そんな写真を見たいと思います。臆することなくドンドン応募してください。

#### 自然部門

#### 柄木孝志

第1回～第3回



鳥取県在住。株式会社LANDSCAPE DESIGN代表。国や各自治体と連携し、写真を通じた地域活性化業務にも注力。東京カメラ部10選。

機材の進化に合わせて、誰もがきれいな作品を撮れる時代になりました。問われるのは、その美しさの中にある撮影者の観察力、想像、そして表現。同じ場所であっても、そこにどれだけの“自分らしさ”を伝えられるかが大切だと私は考えています。薄れゆく日本の四季、そして失われていく地球の自然。そう伝えられる昨今。皆さんの写真で、世界はまだまだ美しいことをぜひ届けてみてください。

#### 斎藤裕史

第4回～第6回



1968年、千葉県生まれ。関西を拠点に活動中。現在は写真教室や撮影ツアーなどの講師のほか、雑誌やWEBなどへの寄稿も。EOS学園大阪校講師。

学生時代、まったくフォトコンテストに入賞できず「コンテストアレルギー」になった私が審査員を担当することになりました。入賞しなくても落ち込まず「斎藤裕史は、この作品のよさが分からなかった」と思って次に挑戦してください。自然の中で、はっとするようなシーンに出合ったら、まっすぐ向き合い丁寧に撮る。写真ならではの表現に「あなたらしさ」が加わったすてきな作品をお待ちしております。

#### 竹沢うるま

第7回～第9回



世界各地を旅し写真を撮る。主なテーマは「大地」。最新写真集に「Boundary | 境界」(青幻舎)。第三回日経ナショナルジオグラフィック写真賞受賞。

写真を見るときに、常に「視点」を意識しています。その人は、どのように世界を見ているのか。それが写っていることが大切だと思います。ですので、写真の完成度や技術の高さといったことよりも、撮影者自身の個性が写っているかどうかを軸に選考をしたいと思っています。型にはまった写真よりも、自由な発想で、その人自身でしか撮れない写真を期待しています。

#### 三輪 薫

第10回～第12回



36回開催の個展を主体に活動。和紙プリントによる日本の自然風景や花などの個展を18回開催。EOS学園東京校三輪ゼミ担当。

日本の自然は四季折々にすてきな表情を見せてくれます。デジタル時代になってより多様な撮影や表現ができるようになり、作品創りの楽しみも増えてきたと思います。このフォトコンテストにはドラマチックな出会いだけではなく、ふと垣間見る何げない表情の中に作者独自の視点や美学を感じられるような描写の作品も期待していて、作品を拝見するのが楽しみです。

#### テーマ別部門

#### A☆50/Akira Igarashi

第1回～第3回  
[飛行機]



瞬撮の航空写真家。著書に「全国空港放浪記」。JAL公式カレンダー担当。ANA社、スカイマーク社の公式撮影多数。EOS学園講師。

2025年よりマンスリーフォトコンテスト「飛行機」部門の審査をさせていただきます。皆さまが切り撮ったまたとない一瞬、こめられたアツい想い、芽えわたるアイデアなど、拝見するのをすごく楽しみにしています。機体そのものの魅力で勝負する作品、美しい風景の中を飛びヒコーキ、旅のワクワク感を感じる作品などなど、飛行機写真ならALLジャンルなんでもOK! ご応募お待ちしております!

#### 沖 昌之

第4回～第6回  
[動物]



自分の撮った写真で世界の誰かを幸せにできたらすてきな趣味だなという思いからスタートして、今は猫写真家に。代表作「必死すぎるネコ」。

猫しか撮れないのに動物部門の審査をさせていただくことになりました。「うわー、こんな瞬間見たことないよー」というような決定的瞬間も楽しめず、タイトルと写真の組み合わせの妙で唖らされる作品もひそかに楽しみにしています。光とか構図とか抜きにして、写真からにじみ出る激しさに触れたいです。皆さまのこだわりの作品をぜひご応募くださいませ。楽しみにしております。

#### 山崎友也

第7回～第9回  
[鉄道]



鉄道写真の専門家集団「レイルマンフォトオフィス」代表。独自の視点から鉄道写真を多彩に表現し、出版や広告など幅広い分野で活動中。

再びマンスリーフォトコンテスト「鉄道」部門の審査員を担当することになった、ワシが山崎友也じゃけえ! 鉄道写真は車両をメインに撮るだけではなく、風景やイメージ、スナップなど被写体や表現方法が多岐にわたるジャンルです。皆さんの豊かな感性で「あ、いいな!」と思った光景や瞬間を切り取り、ボクが思わずジェラシーを覚えてしまうような作品をジャンジャン募集しています。

#### 高須 力

第10回～第12回  
[人物]



サッカーを中心に幅広くスポーツを撮影。FIFAワールドカップは2006年ドイツ大会から連続取材中。ライフワークでセパタクロー日本代表を追い掛ける。

テーマ別部門「人物」を担当させていただくことになりました。写真とは、自己表現の手段であると同時に、人に何かを伝えるための媒体でもあります。競技中のスポーツ写真はもちろんですが、それ以外のジャンルでも被写体の物語が感じられる皆さんの作品をお待ちしています。